

# 平成 26 年度（前期）クラス代表懇談会・事前アンケート集計（回答件数 81）

※ 各質問の代表的あるいは目立った回答の概略を「摘要」にまとめています。

## I. 共通教育の授業全般について

1. 今年度の履修登録の方法や時期に関して問題があれば、自由に書いて下さい。

**摘要：パソコンの習熟度へ配慮、登録時期、変更・取り消し方法、基礎セミナーの登録**

- ・パソコンが重かった（工学部電子情報工学）
- ・koan に繋がりにくい（経済学部経済経営、外国語学部）
- ・やり方が分かりにくかった（薬学部）
- ・登録方法に不明確な点多すぎた（外国語学部ベトナム語）
- ・時期については問題ないが、履修登録方法がパソコンのため、パソコンを苦手とする新入生は混乱する（外国語学部ウルドゥー語）
- ・校内のパソコンの所在地や使い方も分からない状態でいきなりインターネット上での手続きをするのは難しい（文学部）
- ・生協のパソコンが届くより先に登録期間が来て、自宅でやれなかった。生協と協力してほしい(文学部)
- ・履修科目の決め方、登録の仕方の説明が少なく、ほとんど分からずとても不安になった。しっかり時間をとって説明してほしい（人間科学部）
- ・やり方が面倒くさい。曜日・時限ごとに確認できるようにしてほしい（外国語学部）
- ・授業時間ごとに授業を登録できるようにしてほしい（外国語学部）
- ・履修の繰り上げの通知が遅く、大きな不利を被った（工学部応用理工）
- ・履修登録の時期が早い（工学部電子情報工学）
- ・可能な科目のみで良いので、一週間は履修登録なしで自由に好きな科目を様子見してから履修登録できたらよい（医学部保健学科）
- ・体験授業などを行い、授業の雰囲気を知ってから登録した方が良いと思う（工学部応用自然科学×2）
- ・北海道大学では1週間程度のプレ授業のようなものがあり、その後履修登録が行われるらしい。この方法であれば履修登録のミスが減ると思う（理学部生物科学）
- ・もう少し履修登録の変更が効く期間が長くてもいいかなと思う（文学部）
- ・履修登録については丁寧な指示をくれたが、取り消しの仕方は一切教えてくれなかったので困った（工学部応用理工）
- ・登録解除について分かりにくい（工学部電子情報工学）
- ・履修取り消しの時期がよく分からなかった（外国語学部中国語、人間科学部）
- ・基礎セミナーの希望の票の提出が早すぎる（工学部応用理工）
- ・基礎セミナーの履修登録が早すぎる。せめて履修登録説明の後にしてほしい（工学部電子情報工学）
- ・第二外国語の選択がいくらなんでも早すぎる（理学部化学科）
- ・必要単位をいつまでに取らなければいけないのか（1セメか、卒業までか）分かりづらかった。履修例をだしてほしい（人間科学部）
- ・希望していたクラスが全て通らなかった場合、何らかの表示でその旨を示してほしい（国際公共政策）

- ・抽選が外れすぎる（外国語学部）
- ・自分の時間割ならどれくらいの単位が取得できるのかを示してもらえるとわかりやすい（法学部国際公共政策）
- ・履修登録について。登録期間を早めてほしい、登録期間を延ばしてほしい、登録方法は統一すべき、新入生向けガイドラインが欲しい、必修科目を初めから登録しておいてほしい、履修登録のやり方が分からない人だけがサイバーメディアでしたらよい、履修についての教員などからの説明が少ない（法学部国際公共政策）
- ・語学の授業について。複数回同じ先生に当たることが無いようにしてほしい、学籍番号順にまとめてほしくない、英語は抽選でどの授業になるか分かりづらく不便（法学部国際公共政策）
- ・情報の授業だけ、教授の不手際で希望のものがとれなかった（法学部国際公共政策）
- ・体育の授業について、koanでの履修登録を生徒がやるのか先生がやってくれるのか分かりにくかった（工学部電子情報工学）
- ・健康科学の履修一覧への反映が遅かった（外国語学部英語）
- ・基礎セミや健スポも koan で履修登録できるようにしてほしい（基礎工学部システム科学）
- ・別の学部の講義も受けられると聞いたが、やり方を知りたい（理学部生物学科）
- ・簡潔にしてほしい（基礎工学部）
- ・web上の表示が～外となっていて驚いた。最終決定を知りたい。（法学部）
- ・シラバスの下書きの意味がない（基礎工学部）
- ・定員999はわずらわしい。未定にしてほしい（外国語学部）（経済学部）
- ・登録方法の説明が不十分（外語）
- ・準備期間が短い。お試し期間が必要（外国語学部）（外国語学部）（理学部）（人間科学部）
- ・取り消し期間を長くしてほしい（基礎工学部）
- ・基礎セミナーの履修が分かりにくい（工学部）
- ・履修が早すぎる（経済学部）
- ・履修の手順が分かりにくい（外国語学部）
- ・コア科目が多いので選択肢がない（理学部）
- ・1日5限入れるといかにハードか分からず、あとで取り消す人がいた（理学部）
- ・履修登録を早めてほしい（経済学部）
- ・登録や取り消しの期間を長くしてほしい（工学部）
- ・登録時間に余裕が欲しい（医学部）
- ・専門分も入学前に紙で渡してほしい（医学部）
- ・『履修の手引き』で修得すべき単位数はわかるが、それをいつまでにそろえるべきかがわからない（医学部）

2. 今年度のシラバス（冊子と web の両方）の内容や配布方法に関して問題があれば、自由に書いて下さい。

**摘要：分かりにくい、重い、多い、必修・選択の違い、単位いつまでに？、シラバスと授業内容の差**

- ・1年生にとっては分かりづらかった（外国語学部）
- ・冊子が厚すぎる、索引が欲しい、送ってもらえるのはうれしかった（医学部保健学科）

- ・量が多すぎて見る気を削がれる。もっとコンパクトにしてほしい（外国語学部ウルドゥー語）
- ・重くて持ち運びに向いていないので、もうすこしコンパクトにするか、web に限定してもよいと思う（法学部国際公共政策）
- ・冊子は必ずしも必要ではないので、冊子を希望するか否か尋ねるシステムがあると良い（外国語学部）
- ・冊子に無く web にだけある授業があった。全部冊子に書いてほしい（工学部環境エネルギー）
- ・冊子、web とともに非常に分かりやすかった（理学部生物科学）
- ・細い冊子、太い冊子、web、プリントなど履修登録の情報が乱れて載っていてわかりにくかった（基礎工学部システム科学）
- ・情報や体育など必修科目の時間がどこに書いてあるかわかりにくく、時間割を組むのにかなり苦労した（外国語学部ベトナム語）
- ・学部ごとに分けてほしい。そうすれば重たくなる（工学部電子情報工学、文学部）
- ・分厚いので、学部ごとに分けてほしい（薬学部）
- ・学部ごとに必修科目だけ載せた時間割表（穴あきの）があるといいと思った（人間科学部）
- ・シラバス内容を自分に関係あるのだけにしてほしい。今のままだと見つけるのが大変（基礎工学部）
- ・重いのと、取りたい授業を探すのに苦労した。自分の好きなジャンルで絞って探せたらおもしろいかも（外国語学部トルコ語）
- ・必修科目と選択科目の区別がつくようなマークでもつけてくれると、時間割作成に便利（理学部物理）
- ・必須なのに自分で履修登録しなければいけない授業があり、その登録を忘れずにするようにという注意をもう少ししっかり伝えてほしかった（医学部保健学科）
- ・届いたのが合格発表の4~5日後だったので、可能であればもう少し早めに合格パックを送ってほしかった。また、修得すべき単位数の一覧はあったけれど、その単位を1年間で取らなければいけないのか、1年半で取らなければいけないのかすぐに分からなかった（4月になってすぐ分かったが、3月の間ずっと分からずに不安だった）。専門科目の分も予め3月に渡してほしい（医学部保健学科）
- ・シラバスの内容と実際の講義内容との差が大きいものがあった（文学部）
- ・シラバスの内容と実際の授業の感じが違うものがある。きちんとシラバスで説明してほしい（法学部）
- ・シラバスの内容を全く無視した授業があるので調査をしてほしい（法学部）
- ・シラバスに授業の写真などを載せてほしい（法学部国際公共政策）
- ・授業の雰囲気伝わりやすいものにしてほしい（工学部電子情報工学）
- ・日本語で書いてほしい（薬学部）
- ・専攻語の文字で書かれてもシラバスは読めない（外国語学部インドネシア語）
- ・字が小さくて見にくい（外国語学部）
- ・授業場所が不明記の授業（例：科学実験）があったので確定次第 web で良いので載せてほしい（工学部応用理工）
- ・読み切れない（基礎工学部）（人間科学部）
- ・KOAN のスマホ対応アプリが欲しい（外国語学部）
- ・詳細はパソコン版参照というのは面倒（経済学部）
- ・冊子と web の両方あるのが便利（理学部）
- ・シラバスの内容が分かりにくい（経済学部）

- ・web版がわかりにくい（工学部）
- ・曜日・時間ごとに授業が検索できるようにしてほしい（外国語学部）

3. 共通教育の授業（講義、演習、実験のすべてを含めた教育内容や授業方法等）をこのように改善して欲しいという要望があれば、自由に書いて下さい。

**摘要：講義形式・一方通行→少人数・双方向、研究内容の取り入れ、「濃い」授業を、**

**パワポの功罪、無駄な教科書、全学部対象授業を拡大、教室移動の問題、授業計画明示**

- ・教室の移動が多くて大変（工学部環境エネルギー）
- ・声が聞こえにくい講義があるのでマイクを（基礎工学部化学応用化学科）
- ・実験のレポートについては初回の授業で見本が欲しい（工学部応用理工）
- ・教室変更の場合、koanからメール連絡が来ると良い（工学部応用理工）
- ・休講、補講の連絡を徹底してほしい（理学部化学科）
- ・授業で使う教科書が分かりにくい。授業でほとんど使わないのに教科書を購入させないでほしい（工学部応用自然科学）
- ・講演会形式が多いと感じる。色々な種類の話聞いて良い反面、すべての話について（難解だったり、つながりが不明で）ほとんど話の内容が身になっていない。もう少し全体的に関連付けてほしいと思う（医学部保健学科）
- ・一方的に教員が話す講義が多く、高校の延長のような授業が多くて大学らしさが感じられない（外国語学部英語）
- ・もっと参加型の授業を（前半講義、後半ディスカッションなど）（法学部国際公共政策）
- ・もっと専門的な授業でも良いのでは（法学部）
- ・スピードを多少上げて構わないので、密度の濃い講義を展開して欲しい（工学部電子情報工学）
- ・教授が学生に教えるというよりは研究内容を発表するといった講義が多いように感じる。学生に興味を持ってもらえるような教える技術が必要だと思う（外国語学部中国語）
- ・ただ“教える”だけでなく研究内容に関しての話をしてほしい。実生活に絡めた話をしてほしい（工学部電子情報工学）
- ・少人数制を意識した授業を作してほしい（外国語学部ウルドゥー語）
- ・レポートと期末試験の両方を課したり、中間・期末の両方試験を行う科目を無くして欲しい。期末試験か期末レポートのどちらかを課すようにしてもらえると助かる（医学部保健学科）
- ・パワーポイントを用いる授業では、レジュメを配布して欲しい。ノートを取っている間に、次のスライドに移ってしまう（医学部保健学科）
- ・授業で使ったパワーポイントをwebに上げてほしい（法学部法学）
- ・より多くの先生が、講義ごとにショートレスポンスを学生に書いてもらうなどして、学生が講義を受けっぱなしにならないような取り組みをしていけばと思う（文学部）
- ・黒板のグラフや文字は大きく見やすく書いてほしい（法学部国際公共政策）
- ・豊中総合学館302のマイクを直してほしい、マイクなどの設備が悪いのを何とかしてほしい（法学部国際公共政策）
- ・席が足りないような教室で授業をしないでほしい（法学部国際公共政策）
- ・授業内容の偏りを少なくしてほしい、 Semester中に学習しない教科書の残りのフォローが欲しい（法学部国際

## 公共政策)

- もう少し教員の方が教室の設備（プロジェクターなど）を利用しやすいようにしてほしい。教員が手間取っているのを見るとこちらもいい気分がしない。操作方法の紙などを設置しては（理学部生物学）
- 授業の出席確認を IC カードにしてほしい。物理学実験のように（工学部電子情報工学）
- 全学部対象の授業を増やしてほしい（基礎工学部システム工学）
- 学部によらず全ての一般教養科目を履修できるようにしてほしい（理学部物理）
- 文系の授業をもう少し受けてほしい（薬学部）
- 文系でも受けれる理系の授業をあと 10 個くらい増やしてほしい（基礎セミでも共通教育でも）。基礎セミで、取りたくても吹田開講のものが多かったの、全て豊中開催してくれたらと思った。先生方の都合もあるのかもしれないが（外国語学部スワヒリ語）
- 基礎セミに関して、キャンパス移動があることを入学したてでわかっていないまま申し込んでしまい、時間の都合上受講をあきらめた。事前に、移動のことも考えなければいけないと知らせてほしかった（人間科学部）
- 体育から即講義はいろいろ大変なので、間に昼休みを挟むか、体育を 4 限にしてほしい（理学部物理）
- はじめに授業計画を細かく教えてほしい、今習っている授業が具体的にどう役立つのか教えてほしい（モチベーション向上につながる）（基礎工学部システム工学）
- 授業の導入でその授業の意義を説明してほしい（外国語学部インドネシア語）
- 毎回授業時間通りに教室にいらっしゃらない先生がいるので、注意してもらいたい。休み時間が短く、移動で間に合わないことがある（法学部国際公共政策）
- 教授の遅刻を無くしてほしい（文学部）
- 必修講義で講師が「阪大公認サークルがカルト集団であったこと」について笑顔で話していたことが許せない（外国語学部インドネシア語）
- 黒板が遠い（基礎工学部）
- 今のままなら一般教養は廃止にして欲しい。興味もないし、レベルも低い（人間科学部）
- CLE を活用してほしい（工学部）
- 履修取り消し期間に、教員評価期間を設けてほしい（基礎工学部）
- 内容を面白くしてほしい。教室外の授業があるといい（経済学部）（人科学部）
- マイクが壊れていることがある（工学部）
- 共通教育の量が多すぎる（基礎工学部）
- 大教室ではマイクを使って欲しい（理学部）
- 授業の量が多すぎる（経済学部）
- 出席点をもっととってほしい（工学部）
- 1 限に語学が入るのは迷惑（経済学部）
- 過去問を渡してほしい。レポートの数を減らしてほしい（医学部）
- パワポの授業は資料にして配ってほしい（医学部）
- 黒板の見やすさや声の大きさに気をつけてほしい（医学部）

## Ⅱ. 学修・学生生活支援などについて (以下の回答はクラス代表の個人的意見でも構いません)

1. 全学教育推進機構では新入生用の冊子『阪大生活』を配布し、学生生活についての情報提供をしています。① 冊子の有用度を5段階(5が最高、1が最低)で評価して下さい。また、② 冊子の内容について役立った点や改善して欲しい点について自由に書いて下さい。

**摘要：困った時に役立った、認知度の問題、冊子が多すぎて埋没**

**5**：10人

- ・学生生活の概要を掴むことができてよかった (外国語学部中国語)
- ・学生生活についてあらかじめイメージできた (法学部法学)
- ・おもしろかった (理学部生物科学)
- ・新入生の困りそうなことについて深く書いてあり、参考になった。(外国語学部)
- ・とても助かった (基礎工学部)
- ・必要な情報が一冊にまとまっていて使いやすい (医学部)

**4**：28人

- ・重要な事項がまんべんなく記述されており困ったときに役に立った (工学部電子情報工学)
- ・留学について詳しく載っていた (薬学部、人間科学部)
- ・p. 19のGLOCOL記事(カルチェの3階にこんなスペースがあることを今初めて知り、大変興味を抱いている(基礎工学部システム科学)
- ・『私の体験談』に阪大後大変お世話になった先輩がのっていて、話も勉強になった。この機会に改めて見直してみても本当に良かった (基礎工学部システム科学)
- ・この冊子の存在を知らない生徒がいるのではと思う。ガイダンスか何かの時に一度知らせてほしい (人間科学部)
- ・阪大での生活が具体的にイメージできてよかった (外国語学部英語)
- ・事前に大学生活の様子が分かりよかった。高校と大学の違いの記事が参考になった (国際公共政策)
- ・授業料の振込方法などが分からないときに読んだ。大学について困ったときに見ると欲しい情報が載っている印象 (工学部応用自然科学)
- ・大体の一連の流れを把握できた (法学部国際公共政策)
- ・内容が豊富 (工学部電子情報工学)
- ・よりわかりやすい地図 (工学部環境エネルギー工学)
- ・Q&A形式で代表的な困りごとに答えるとわかりやすい (工) 4
- ・阪大のキャンパスライフの概要が知れて良い。授業の情報もほしい (工) 4
- ・カルトに関する注意喚起を載せて欲しい (経済) 4

**3**：29人

- ・新入生は読むべき冊子が多すぎるので、どれほど有益な情報でも混乱しがち (外国語学部フランス語)
- ・大学内の施設についての説明は役に立った (文学部)

**2**：9人

- ・あまり読んでいない (外国語学部英語、理学部科学、理学部生物科学)
- ・読んだ人は少ない (工学部応用自然科学)
- ・正直な所、4月の初めはいろいろな書類が配布され、存在さえ覚えていない。本当に必要な部分だけを分かりや

すく説明してほしい（文学部）

・どのように生活すればよいのかが分かった（経済学部経済経営）

①：2人

・読もうと思ったが他に多くの読むべき資料があったので、忘れていてそのままずっと読んでいなかった（医学部保健学科）

【その他】

・見たことがない（外国語学部ウルドゥー語）

2. 新入生が大阪大学での学生生活を始める際に、どのような情報や支援があれば、阪大生としての生活に慣れるために役立つと思いますか。できるだけ具体的に答えて下さい。（授業や学修に関することに限りません）

摘要：上回生との接点が欲しい、分かりやすい地図・施設案内、入学時の冊子・書類が多すぎる

- ・生協の申し込み方が少しわかりにくかった（法学部国際公共政策）
- ・サークル以外で、授業などを通して上回生と密に接する機会が欲しい（外国語学部ウルドゥー語）
- ・欠席の際、教授への連絡が必要かどうかなど対応の仕方をシラバスに載せてほしい（工学部応用理工）
- ・授業ごとにテスト形式をあらかじめ示すなど、何をどのように学んでほしいのか具体的に示してほしい。特に講義で淡々と話すときは伝えたい部分がわからない（外国語学部フランス語）
- ・民間の寮も紹介して欲しい（外国語学部ベトナム語）
- ・教科書販売のとき、「参考書」と書かれてあるものを買う必要があるのかについて（国際公共政策）
- ・クラスでの懇親会など（工学部応用自然科学）
- ・クラス内活動の時間を設ける（基礎工学部システム科学）
- ・合格や入学してすぐに与えられる書類が多すぎる。いくらかは仕方ないかもしれないが、提出物などややこしく感じた（理学部生物科学）
- ・冊子が何冊もいらないので、必要な情報を全て一冊にまとめてほしい（法学部国際公共政策）
- ・履修について、もっと詳しく（基礎工学部化学応用化学）
- ・履修についてのアドバイス（工学部電子情報工学）
- ・履修登録はIDも分からずログインするのもやっとな人にとっては数十分で一斉にやれというのは厳しいので、本当にパソコンに初めて触る人にも分かる言葉で説明した冊子が欲しい（文学部）
- ・履修登録の過酷さを知って、覚悟しておきたかった。手伝ってくれる先輩がいてくださると助かる（医学部保健学科）
- ・履修登録はサポートするスタッフがいたものの対応がうまくいっておらず、結局戸惑う学生が多かったので事前に履修登録方法をわかりやすく解説した冊子を学部ごとに作成すべきだと思う（外国語学）
- ・シラバスをみて授業を組むのが大変だった。最初の学科の集まりの時、せっかく上回生も来ているのだから希望者のみでも授業を組むのを手伝ってもらえるようにすべきだ（外国語学部スワヒリ語）
- ・授業の内容や単位についての先輩の体験談（工学部電子情報工学）
- ・授業の取り方や勉強の仕方についてのアドバイスが欲しい（医学部保健）
- ・それぞれの授業について重要なことを先輩の声というかたちで知ることができると良い。特に、まだ部活やサー

- ・クルに入る前に知れたらありがたい（工学部応用自然科学）
- ・専門科目の履修登録方法が分かりにくかった（法学部国際公共政策）
- ・上回生の、この時期に～しておけばよかったという反省の声が多く与えられていれば、新入生としての生活で気を付けるべきところが分かると思う（外国語学部中国語）
- ・先輩の声が聞けるとよい（文学部）
- ・取る授業やスケジュールの一例（人間科学部）
- ・4～5月の具体的なタイムライン（忙しい人、そうでない人など）（法学部法学）
- ・阪大生の、特に上下の学年との交流。頼れる人がいると生活しやすいから（人間科学部）
- ・履修登録の際にその授業をとった先輩の意見をもっと聞きたかった（外国語学部トルコ語）
- ・全ての授業について、受けた体験談（外国語学部ドイツ語）
- ・アルバイトやサークルについて、先輩の日常生活の体験談を幅広く聞きたい（医学部保健）
- ・食堂の込み具合（外国語学部インドネシア語）
- ・食堂の数と位置（薬学部）
- ・キャンパス内での教室の位置がよく分かるマップを作成して欲しい（工学部応用理工）
- ・校舎地図、とくに共通教育棟内（法学部国際公共政策、工学部環境エネルギー工学）
- ・どの施設をどのように活用できるか網羅したもの（法学部法学）
- ・大学の施設利用方法について。公欠などはどうするのか、図書館やサイバーメディアの使い方、バスの乗り方など、学生の暗黙の了解となっている部分についても情報が欲しい（文学部）
- ・自分がすす以外以外のキャンパスに関する情報（文学部）
- ・自転車使用禁止の場所について、もっと早く知りたかった（法学部法学）
- ・交通機関についての情報（薬学部）
- ・生協で買えるものには何があるか（経済学部経済経営）
- ・キャンパス内の店の商品ラインナップについて（法学部法学）
- ・サークル活動の内、大学非公認の情報も具体的に載せてほしい（基礎工学部システム科学）
- ・学生主催のイベントはカレンダー形式で見れるようにしてほしい。今のままで日付の確認に手間がかかる。ログイン不用の別のページを用意してもよいのでは（理学部生物科学）
- ・掲示板を見ない人がいるので、もう少し掲示板を見るよう伝えてほしい（工学部応用理工）
- ・実験アルバイトも web でチェックできるようにしてほしい。掲示板のみの掲載では確認しにくい（理学部生物科学）
- ・クラブやサークルなどの課外活動、アルバイト、石橋附近の店の紹介（法学部国際公共政策）
- ・近畿圏以外から入学した学生にとってはバイトを見つけることが難しい。接客系は医学部だからと敬遠されることがあるらしく（?）、教育系も探すのは困難なので、そのあたりのあっせんを前期からやってくれるとありがたい（医学部医学）
- ・どのあたりに部屋を借りると便利か（工学部電子情報工学）
- ・行事の告知を web メールあるいは koan に上げる（法学部国際公共政策）
- ・他学部や留学生との交流は、サークルなどに加入しないとできない（理学部生物科学）
- ・レポートの書き方について、授業で直接教えてほしかった。また、よくできたレポートを紹介してもらえたらと



でも参考になるのでお願いしたい（人間科学部）

- ・今年の内容で十分（工学部電子情報工学）
- ・習うより慣れろということでは。新学期に戸惑うのは仕方ない（理学部物理）
- ・先輩の具体例（法学部）
- ・地域の治安情報（外国語学部）
- ・授業の映像や写真を公開して選びやすくする（外国語学部）
- ・先輩と話せる機会を設けて欲しい（外国語学部）（経済学部）
- ・授業を最小限にした場合の空き時間が知りたかった（基礎工学部）
- ・下宿生にたいする生活指導。メールなどでの情報提供（経済学部）
- ・履修の仕組みをもっと詳しく教えて欲しかった（外国語学部）
- ・教室の位置情報。個人の時間割表示システム（工学部）
- ・大学と高校の授業の違いを体験するための模擬授業（経済学部）
- ・もう少しサポートが必要（外国語学部）
- ・教室間の距離や位置関係がわかるようにしておくが良い（医学部）
- ・履修の相談（単位数や組合せについて）する機会がほしかった（医学部）
- ・最初に学部内の懇談会があるとよい（経済学部）
- ・下宿生の住んでいる所のだいたいの分布（外国語学部）
- ・コンビニ・スーパー・郵便局・銀行の距離はとても重要（理学部）

3. 全学教育推進機構では、阪大生用にレポート作成の心構え、手順、形式、注意点などをまとめた簡便な手引きが欲しいとの学生の要望に答えて、『阪大生のためのアカデミック・ライティング入門』を作成し、平成 26 年度の新入生に配布しました。① この冊子の有用度を 5 段階（5 が最高、1 が最低）で評価して下さい。また、② 冊子の内容について役立った点や改善して欲しい点について自由に書いて下さい。

**摘要：コンパクト、分かりやすい、配布・認知に工夫を、具体例欲しい、文系用と理系用、英語版**

⑤：13人

- ・とても参考になった。持ち運びも楽で情報活用基礎の授業でも重宝している（法学部国際公共政策）
- ・中学・高校の課題と、大学のレポートとの違いを早期に認識できたのはよかった（外国語学部英語）
- ・配布が遅い（外国語学部インドネシア語）
- ・理系なので役立っている（基礎工学部）
- ・レポートの書き方が大まかに分かった（医学部）
- ・レポートが出たらまず何から始めるべきかわかって良かった（基礎工学部）
- ・導入としてはよい。ただ、しっかり読んで実践する時間がない（経済学部）
- ・レポート作成に不安があったが、書き方がわかって恐怖心が薄れた（経済学部）

④：23人

- ・わかりやすかった（医学部保健）

- ・最初どうやって書けばいいかわからないが、簡潔に書かれていて分かりやすかった（工・応用自然）
- ・書かなければならないことが分かって良かった（工学部応用理工）
- ・レポート作成時に参考にすることができてよかった（外国語学部トルコ語）
- ・情報活用基礎の授業は大変ありがたかった（理学部物理）
- ・p. 14「参考文献の登録」が役に立った。チェックリストも助かる（人間科学部）
- ・文献を参考、引用する際の注意点やコピーの禁止など、基本的な事項の確認ができた（文学部）
- ・基本的なことが書かれていて助かった。レポートを複数例として挙げてほしい（人間科学部）
- ・少し見たが、内容が豊富で良いと思う（理学部化学科）
- ・冊子にしてあるので参考にしたいと思った時に見返せるのがありがたい（理学部生物科学）
- ・A 4 か B 5 サイズのほうがなくなりにくいと思う（医学部保健学科）
- ・内容は良いものだったが認知度が低かった。レポートの提出を求める授業ではオリエンテーション時に使うと良いと思われる（工学部応用理工）
- ・わりと分かりやすくてよかった（経済学部）
- ・レポートに慣れていなかったもので、役立っている（外国語学部）

③: 28人

- ・論文の書き方が分かった（薬学部）
- ・コンパクトで読みやすく、持ち運びやすい（外国語ウルドゥー語）
- ・知名度が低く、印象に残りにくかった（外国語学部フランス語）
- ・レポートの具体例を提示するなど、より実践的な内容にしてほしい（工学部電子情報工学）
- ・配布時期が早すぎる。4月下旬ごろ、新入生が初めてレポートという言葉に触れることにあわせて配布して欲しい。冊子だけでなく講座も開いてほしい。読むだけで、質問できる場は無い（文学部）
- ・カラーを取り入れて見やすくしてほしい。レポートの具体的な完成例を図として入れてほしい（基礎工学部システム科学）
- ・英語用もあれば、外国語学部の学生にとってもより有用になると思う（外国語学部英語）
- ・文系用と理系用を分けてほしい。かえって混乱してしまう気がする。あと、実際に論文を書いている先生から、今の論文の書き方の流行などの情報も得てもらってほしい（工学部応用自然科学）
- ・実際に書く練習（パラグラフであれば、**topic sentence**→**thesis statement** への展開など）があった方が良く思う（法学部法学）
- ・配布のタイミングが学部によってまちまちだったので困った。レポートの構成や具体例、サンプルを提示して欲しい。冊子でもらえるのはありがたい（法学部国際公共政策）
- ・レポートの書き方をよく分かっていなかったもので、具体的なステップが知れてよかった（外国語学部）
- ・「阪大生のための」というなら、他の似たような冊子にない内容がもっとあるべき（工学部）
- ・冊子は役立ったが、授業として直接習いたかった（外国語学部）

②: 4人

- ・初めてのレポート作成でどのように書けばよいか分かった（経済学部経済経営）
- ・読んだ人は少なかった（工学部応用自然科学）

①: 3人

- ・認知していなかった（医学部保健）
- ・まだ読んでいない（外国語学部英語）

4. 学術的な文章作成、文章読解、報告（プレゼンテーション）、討論など学術的作法（アカデミック・スキル）に関する技能について、現在実際に困っていることや授業や授業外の学修支援で充実して欲しいことについて、自由に書いて下さい。

**摘要：学術的作法が分からない＝不安、フィードバックが欲しい、必修化を**

- ・本格的に教えてもらっていない（外国語ウルドゥー語）
- ・練習できる機会が少ない（法学部法学）
- ・レポートの書き方を教えてほしい。レポートと感想の違いがよく分からない（薬学部）
- ・レポートを書く際の決まりごとを教えてほしい（工学部応用理工）
- ・授業でいきなりレポートや考察を書けと言われることが多いので、何をどんなふうに行けばよいのか授業前に授業して欲しい（工学部電子情報工学）
- ・実験レポートを書く上で「理論」をどこまで細かく書くべきなのか分からない（物理実験）（工学部電子情報工学）
- ・引用と自分の意見の記述配分はどれくらいがベストなのかよく分からない（文学部）
- ・授業ごとに様々なレポートを提出するものの、その評価が返って来ないので、論文のスキルの向上をはかれない（理学部物理学科）
- ・レポートなど出した文章を添削してもらって帰ってくるが、そのとおりに書き直すという機会がほとんどない（工学部応用自然科学）
- ・どんなプレゼンやレポートが良いか理解できない（工学部応用自然科学）
- ・アカデミック・スキルに関するレポートがもう少し欲しい（工学部電子情報工学）
- ・良いレポートがどのようなものなのか、実際に学生が書いたものを例に見せてほしい。手さぐりなのでとても不安（人間科学部）
- ・ある授業で、学生間で互いのレポートを見せ合う時間があった。そこから学べることが多くあったので、模範的なレポートやほかの学生のレポートを見ることが出来る機会が欲しい（外国語学部中国語）
- ・いっそのこと学術的な文章の作成方法を講義する授業を1～2回必修にするのも良いのではないか（法学部法学）
- ・学部別にレポートの書き方を必修化すべきだと思う（外国語学部英語）
- ・アカデミック・ライティングの授業を必修にしても良いのでは。図書館にアカデミック・スキル専門の司書・TAさんを置いてもいいかも（法学部国際公共政策）
- ・指導があまりなかったから、もっときちんと指導してほしい（工学部電子情報工学）
- ・授業時間外にそういう場を設けられても行かないから、できるなら授業時間内に行ってほしい（工学部環境エネルギー工学）
- ・試行錯誤を行って鍛える場として、プレゼンの技巧や言葉の表現などの基本的な部分を教える講義もしくは数か月のスパンで行うイベントを開いてほしい。もしくはプレゼンに関する冊子を作ってほしい。特に英語などでパラグラフに分けて行う形のプレゼンの仕方はもうすこし多くの人に知らせるべき（理学部生物科学）
- ・電子メールの使い方、敬語の使い方（文学部）
- ・オフィスの個人PCへのインストール方法が難しく、困っている人が多い。USBにうまく保存できないようです

(医学部保健学科)

- ・パワーポイントなど基本的なソフトの使い方のレクチャーをオリエンテーションに加えてほしい(工学部応用理工)
- ・教科書が分からない(理学部化学科)

5. 大阪大学では、平成 26 年度から一部の授業を録画し CLE (Collaboration and Learning Environment) を通じて受講生が授業後に視聴できるように準備中です。① こうした取り組みについての関心の度合いを 5 段階 (5 が最高、1 が最低) で示して下さい。また、② 実際にどのような授業の録画が望ましいか、授業の種類や内容について自由に書いて下さい。

摘要：全授業、人気の授業、実験、語学、パワポ・板書、留学生に、欠席時のフォローに

授業に出なくなる？

5 : 35人

- ・理系科目で計算の多い科目(工学部応用自然科学)
- ・人数が多くて取ることができなかった授業を視聴できるようにしてほしい(外国語ウルドゥー語)
- ・人気がある授業で、飛び入り参加が十分に考えられる授業(外国語学部ベトナム語)
- ・授業アンケートを実施し結果の良かった授業を配信する。授業を担当している講師や教授の方々はその高評価の授業を参考にしていきたい(外国語学部インドネシア語)
- ・全ての授業で実施して欲しい(工学部応用自然科学、法学部法学、医学部保健)
- ・全講義、必修科目。登録していない授業でも講義を視聴できるようにしてほしい(工学部電子情報工)
- ・多くの授業で録画されるのが望ましいと思う。とりわけ実験のある授業だと何度も実見過程を見ることができて学びが深まると思う(外国語学部中国語)
- ・極力全講義を網羅している方が望ましいが、管理出来る容量にも限度があると思われる。専門分野の講義か、共通教育の講義に絞って公開するようにしても良いと思う(理学部生物科学)
- ・専門基礎の授業が難しいので、優先してほしい(工学部応用理工)
- ・板書をあまりしない授業、専門科目(法学部法学、薬学部)
- ・科学や数学など、板書が早いもの(工学部電子情報工学、工学部応用理工)
- ・パワーポイントを使用する授業(薬学部、基礎工学部システム科学、医学部保健、工学部応用理工)
- ・ディスカッションなどレジュメに事前に書いてない情報がある授業。講義で、レジュメに書いてない事も多く説明する先生の授業(法学部法学)
- ・生徒による発表がある授業…自分の発表に対する反省ができる(基礎工学部システム科学)
- ・語学系の授業…何度も耳にすることで早く上達できる(基礎工学部システム科学)
- ・授業の復習に使えたり、授業を休まなければならない用事がある場合に非常に有効だと思う(理学部生物科学)
- ・前年の授業の様子が視聴できると履修時にも役立つだろう(工学部応用理工)
- ・一回でも休んでしまうと次の授業がしんどい。第二外国語や専門科目の授業は後々視聴できると副種にもなるし、いいと思う(工学部電子情報工学)
- ・授業時間の融通が利くようになって良い。先生によって向き不向きがある。進度が早い先生には向いているが、生徒とのやりとりを行う先生には向いていない(工学部応用自然科学)

- ・良いと思うが、試験前に視聴が混むのでは？（経済学部）
- ・理系教科（理学部）
- ・パワポを多用する授業（理学部）
- ・専門や必修の科目（経済学部）
- ・復習が必須な授業（外国語学部）

4: 16人

- ・著名人による授業（経済学部経済経営）
- ・数学系など一回聞いただけでは理解するのが難しいと考えられる授業（工学部応用理工）
- ・レジュメなど、形に残るものをあまり配らない授業。言葉の説明が多い授業。物理・数学など、独力では難しい授業（人間科学部）
- ・人気の授業で希望者が全員は受講できないもの（外国語学部英語）
- ・専門の授業（外国語学部ドイツ語）
- ・全ての授業、英語の授業、経済学の授業、各学部必修の授業、大講義室などの大教室での授業、パワーポイントを使う授業（法学部国際公共政策）（外国語学部）
- ・理系科目で今人気の iPS 細胞など文系の自分でも分かるような入門編をしてほしい（法・国際公共）
- ・もっと CLE を周知徹底させるべき（法学部国際公共政策）
- ・関心はあるが、いまいち利用方法等が知られていない。授業の種類は、要点をまとめたもの、保守的内容だとうれしい（医学部保健）
- ・1限の授業を録画にすると、ますます1限に参加する生徒が少なくなると思う（医学部保健）
- ・録画で後から見られるようになると、授業の出席などがおろそかになりそう（法学部国際公共政策）
- ・ネイティブスピーカーの先生の授業。あとで発音が復習できる（医学部）
- ・受講生が減るのでは？（経済学部）
- ・授業選択の参考のために、前年の授業を見られるとよい（人間科学部）
- ・人数が多い授業（工学部）
- ・病気の時に見られるので良い（工学部）

3: 13

- ・出席できない授業があったときには役に立つと思う。留学生にとっても使える場面があると思う。一部の授業がどれくらいの数か分からないのと、どれくらいの生徒が見るのが分からない。また、授業に出なくても見れるとなれば欠席が増える可能性がある（外国語学部トルコ語）
- ・やむを得ず授業を欠席した場合には大変役に立つと思う（理学部物理）
- ・一度きりだが重要な特別講義など（理学部化学科）
- ・やるとすれば言語などの音声が必要とする授業や理解の困難な授業（医学部医学）
- ・復習のツールとして、語学系の授業は録画しても良いのではないか（文学部）

2: 6

- ・共通教育ではなく、専門の授業（人間科学部）
- ・今まで特に必要と感じたことはない（外国語学部フランス語）
- ・病気などで授業を休んだ人にはよいが、全員に許可すると意欲が減退するのでは？（外語） 2
- ・受けた授業の復習のためなら効果的かもしれない。ただ、一方通行的な授業の映像は無意味では？（経済） 2

1: 3

- ・楽ばかり求める学生が目から見ると、録画されるなら授業に出なくて良い、対策として出席を取るようになり授業時間が削られる、仕方なしに出席するがどうせ録画されるので寝るか他の勉強、結局録画も見ない、という流れが見えてしまい賛成できない。使うのであれば、授業の補足資料、言語であれば発音のチェックなど。少なくとも文学部にとっては、どこに需要があるのか分からない（文学部）
- ・授業録画したら、実際には授業に出なくなる人が増えると思う（工学部環境エネルギー工学）
- ・数学（基礎工）

### III. その他、要望・意見があれば自由に意見を書いて下さい

**摘要：図書館が暑い、シンボル、連絡バス、TA 増員、双方向、院生との接点、留学対策**

- ・図書館が暑すぎるので、冷房を入れてほしい（外国語学部ベトナム語、工学部応用理工、法学部国際公共政策）
- ・阪大にも東大の赤門や京大の時計台のようなシンボルがあればと思う（法学部国際公共政策）
- ・CLE の掲示板の敷居が高いのもっと使いやすいものにしてほしい（工学部電子情報工学）
- ・CLE を使わない先生がいるので周知して欲しい（法学部法学）
- ・授業の動画を、履修登録の参考のために見られるようにすると良いと思う。動画の URL 一覧を書いた紙をシラバスなどと一緒に合格パックに入れて送付スマートフォンから閲覧できるようにすると、新入生にとっては履修登録の助けになるのでは（医学部保健）
- ・文系の学生でも受講できる理系の授業を増やしてほしい。学部間の垣根をできるだけなくしてほしい（外国語学部中国語）
- ・連絡バスの本数増加（薬学部）
- ・昼休みを伸ばしてほしい。新学期、全学棟の簡単な案内図を配布して欲しい。教室の机の上にサークル勧誘のチラシ（特にテニス）を置くのはやめていただきたい。床に落ちて汚い（理学部物理）
- ・豊中キャンパス内に一般生徒も利用できるジムを設けてほしい（基礎工学部システム科学）
- ・新入生健康診断の日、キャンパス移動はどうするのか、もっと説明が欲しかった。教職ガイダンスに間に合わなくなりそうで、どのくらい時間がかかるのか、途中になった場合どうするのか、前もって教えてもらえるとありがたかった（人間科学部）
- ・基礎セミのような interactive に進行する共通教育の講義を増やした方が、大学らしい教養教育に繋がると思う（外国語学部英語）
- ・TA を増やしてほしい。人数の多い授業では、板書が見えやすいよう階段教室でやってほしい。図書館とサイバーの廊下が常に暑い（工学部電子情報工学）
- ・サイバーメディアセンターの教室の利用の可否を web で確認したい（工学部応用理工）
- ・農学部を作してほしい（理学部生物科学）

- ・もっと院生の人とコンタクトを取れるようにしてほしい。教授より歳が近い分、分かり合える点が多いと思う（工学部応用自然科学）
- ・海外の大学のサマースクール（6～7月）に参加できるよう早急に配慮してほしい（法学部法学）
- ・あまり暑くない日はクーラーを教室で効かせるのをやめてほしい、課題提出の頻度を授業間で統一して欲しい、海外留学説明やその他の講演にいけないとき資料だけでも入手できるようにしてほしい、交換留学の枠を増やしてほしい、KOANのメールを個人の授業関係だけに絞ってほしい、実践英語の教材・授業内容は統一すべき、もう少しクラス代表を活用すべき、退屈な授業中に生徒が寝てしまうような授業はなくしてほしい、有意義だと思えない授業の成績がGPAで示されるのに納得がいかない（法学部国際公共政策）
- ・全学共通教育について再考してほしい。学生が教員を評価するシステムの導入を希望。（人間科学部）
- ・食堂を長く開けて欲しい（経済学部）
- ・TOEFLの強制はやめてほしい（経済学部）
- ・日曜日にコンビニを開けてほしい（理学部）
- ・生協のPCのスペックは高すぎるのでは（外語学部）
- ・奨学生制度の充実（経済学部）
- ・パワポを使ったらCLEに載せてほしい（経済学部）
- ・人気授業に空きが出たら早い者勝ちになるのは不公平（人間科学部）
- ・危険は少ないと思うので、全学教育推進機構裏手のテニスコート側の入り口から自転車が入れるようにしてほしい（医学部）
- ・トイレの乾燥機を動かしてほしい（医学部）